

「よい子の電話教育相談」に係る 統計及び指導のポイント等

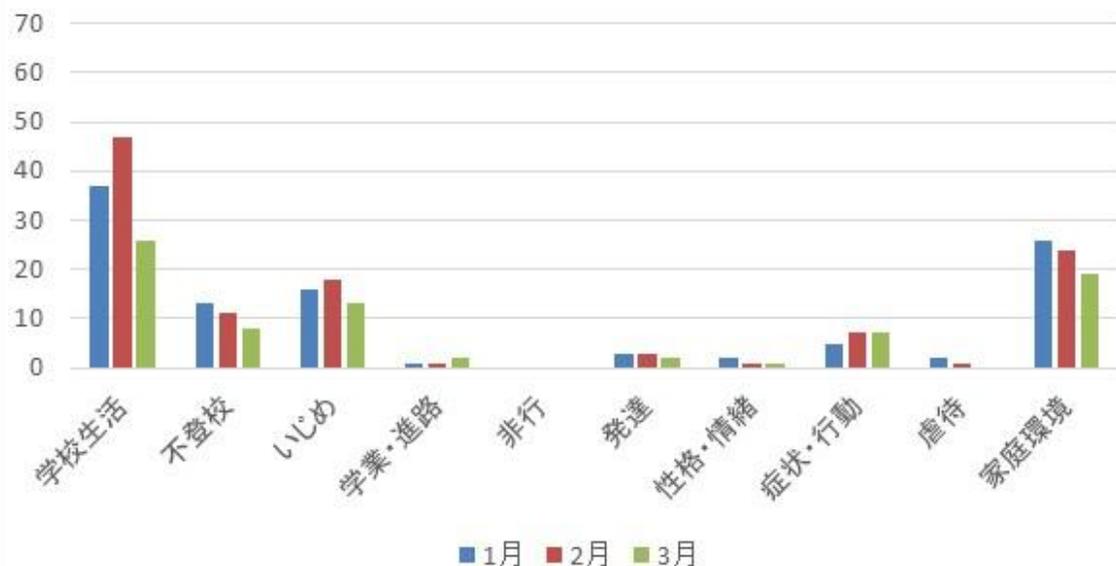
～今後の生徒指導・教育相談に活用してください～

(令和元年度、2年度、3年度 1月～3月統計結果から)

埼玉県立総合教育センター指導相談担当

小学校低学年

小学校低学年 1月～3月



統計結果・相談内容から分かること

・「学校生活」に関する相談、「家庭環境」に関する相談が多い。「学校生活」に関する相談では、登校渋りに関する相談が多い。「家庭環境」に関する相談では、保護者へ反抗するようになったことに対する保護者からの相談が多い。

【指導のポイント】

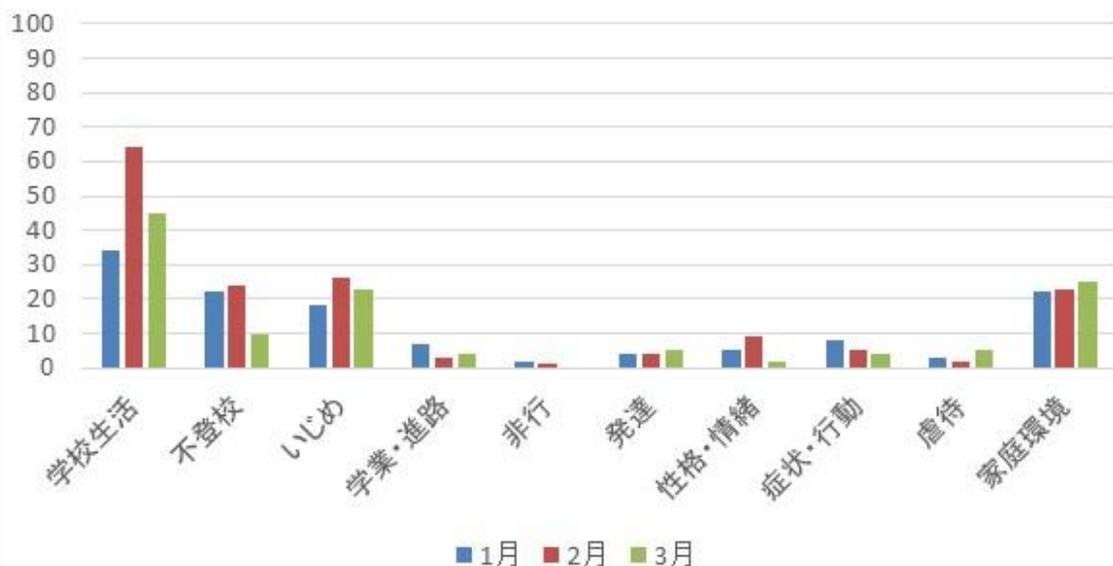
・1年間登校してきたことの疲れや、新学年が始まることへの不安から、不登校まではいかない「登校渋り」の相談が多く見られる。一見問題なく登校できている児童でも、課題を抱えている場合があるため、新年度の不登校につなげないためにも、家庭と連絡・連携をし、指導を行う必要がある。

(相談例)

- ・登校班での子供の様子が心配である。
- ・登校渋りをしている子供に、どう対応したらよいか。
- ・子供が、学校生活でいろいろと指導を受けることが嫌になり、登校を渋るようになった。
- ・家庭で、子供に悪口を言われ、心が傷ついた。
- ・孫の様子が変わってきた。SOSを出しているように感じるが、自分の子にそのことを言えなくて悩んでいる。

小学校高学年

小学校高学年 1月～3月



統計結果・相談内容から分かること

・学校生活に関する相談が多い。相談の内容は3学期になって起きている問題ではなく、1年間続いている問題に対して、解決の兆しが見えないことに対する相談が多い。また、家庭環境の悩みでは、子どもがイライラして反抗的な態度をとることについての相談が多い。

【指導のポイント】

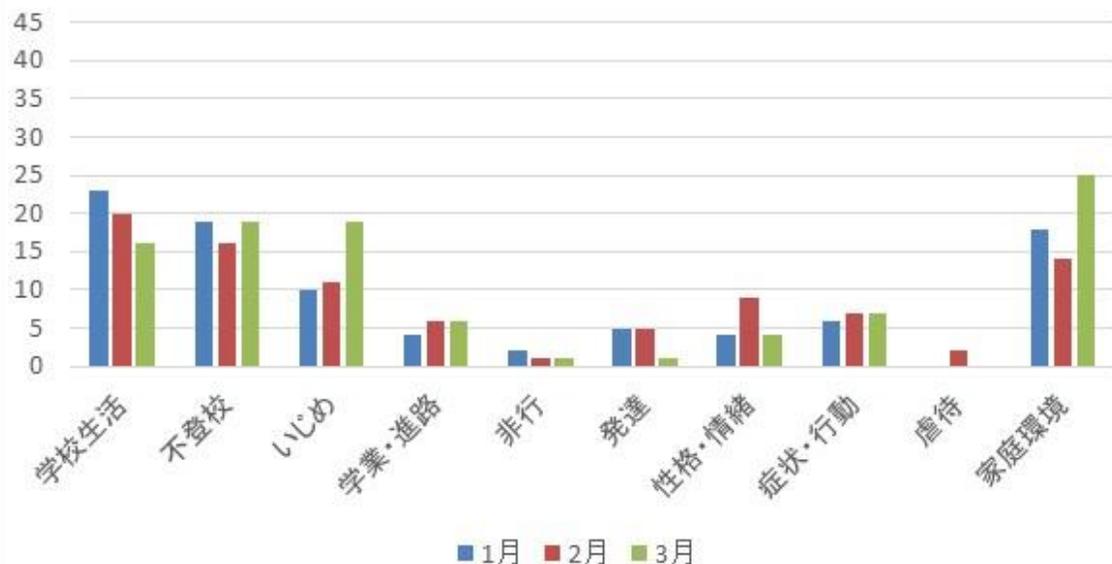
学年が変わることに対して、問題をそのままにしたいという気持ちが、保護者・児童ともに強い。新たな生活を始めるために、今ある課題を解決したいが、解決する方法が見つからないことから、気分が落ち着かなくなり、家庭で反抗的になる児童もいる。どのような状態で新学年を迎えるかを共に考えていく指導が望まれる。

(相談例)

- ・子供へのいじめがなくならず、今後は不安である。
- ・子供が3学期に入ってから、遅刻をして登校するようになったが、どう対応していけばよいか。
- ・クラスで、周りから差別を受けている友達がいる。自分はどうすればよいか。
- ・学校の先生の、子供に対するこれまでの指導に疑問がある。
- ・反抗期の子供の言葉にストレスを感じる。

中学1年生

中学1年生 1月～3月



統計結果・相談内容から分かること

・12月に1年のピークを迎えていた「いじめ」に関する相談が、3月にまた増加する。2学期に起きたいじめが、解決されずに続いていることに対する不安や不満が多い。また、不登校に関しては、2学期に不登校になり、様々な対策をしたが改善しないため、これからのことに不安を持つようになったという相談が多い。

【指導のポイント】

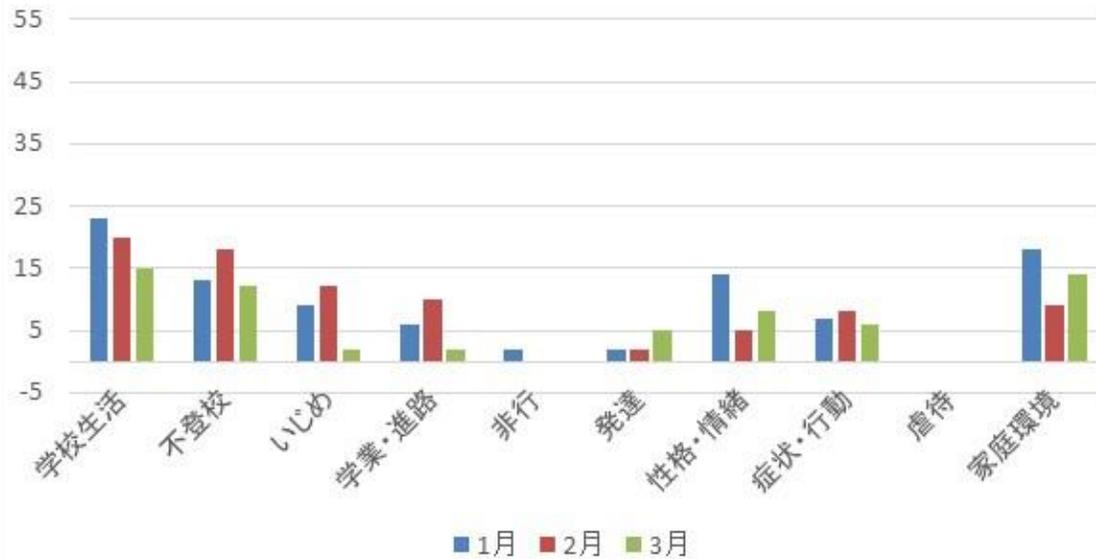
・2学期に起きた問題が、しっかりと解決しているか、改善に向けて進んでいるかをもう一度確認をする必要がある。じっくりと取り組んでいきたい課題であっても、新学年を迎えるに当たっての不安が生徒・保護者ともに強い。現状とこれからの課題について確認し、考えを共有したい。

(相談例)

- ・いじめを受けている子供に対する学校の対応に不信感がある。
- ・LINE（無料通信アプリケーション）のグループで仲間外れにされている。どうしたらよいか。
- ・2学期の初めから不登校になっている。フリースクールに行ったり、担任が家庭訪問をしてくれたりするが、改善が見られない。
- ・11月頃から学校に行ったり、行かなかったりが続いている。相談室で「このまま待ちましょう」と言われたが、何もしなくてよいか心配になる。
- ・またいじめにあうと思うと学校に行きたくない。

中学2年生

中学2年生 1月～3月



統計結果・相談内容から分かること

・相談件数が少ない時期となる。学校生活の相談では、部活動のトラブルが多い。2年生が中心となることによる、部員同士のトラブルにより「仲間外れ」が起き、不登校につながるケースもある。家庭の問題では、生活の乱れに関する保護者からの相談が多い。

【指導のポイント】

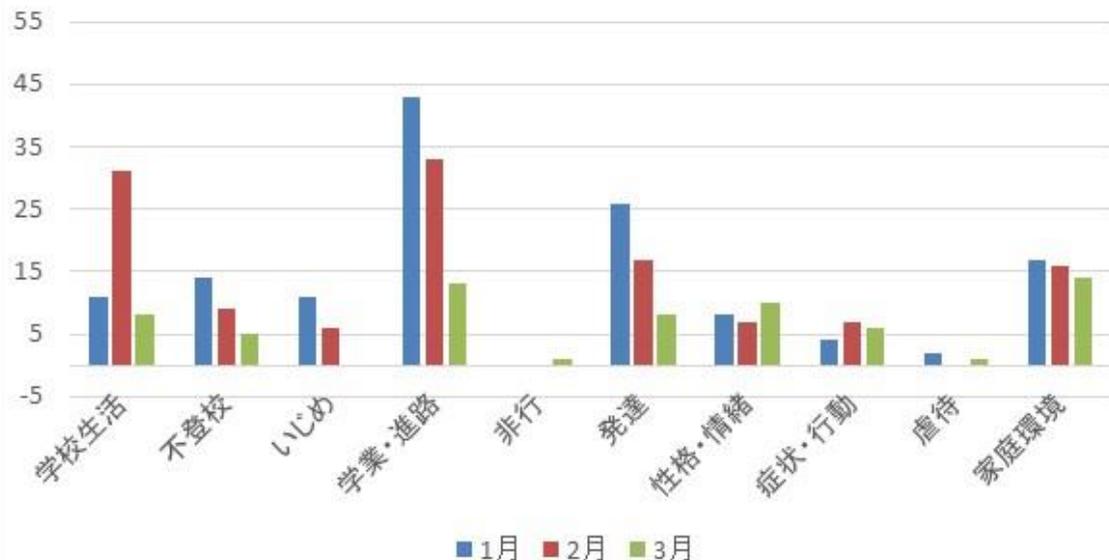
・中学校生活に慣れ、また、進路への悩みもまだ本格化していないことから、この時期は相談の件数が少なく、比較的安定した学校生活を送れている。そのため、「課題解決型」の生徒指導ではなく、「未然防止型」の生徒指導に取り組むよい時期となる。

(相談例)

- ・家庭でゲームばかりをしている子供に対して、ネットを制限したところ反発がひどい。
- ・子供のことでイライラする。金遣いが荒く、すぐにお金を欲しがる。
- ・親の言うことを聞かず、無視する子供への対応について悩んでいる。
- ・友達に仲間外れにされ、同級生との関係に悩む子供に、どのように接したらよいか。
- ・部をよくしたいと思い部員に厳しく接してきたが、部員から「うざい」と言われるようになり、12月から学校に行けなくなった。

中学3年生

中学3年生1月～3月



統計結果・相談内容から分かること

・受検を控える時期であることから、1月は学業・進路に関する相談が多い。2月に学校生活の相談が多くあるが、受検に向けて学習をしている生徒と、学習に対して気持ちが向いていない生徒との間でのトラブルや不満に対する相談が寄せられている。

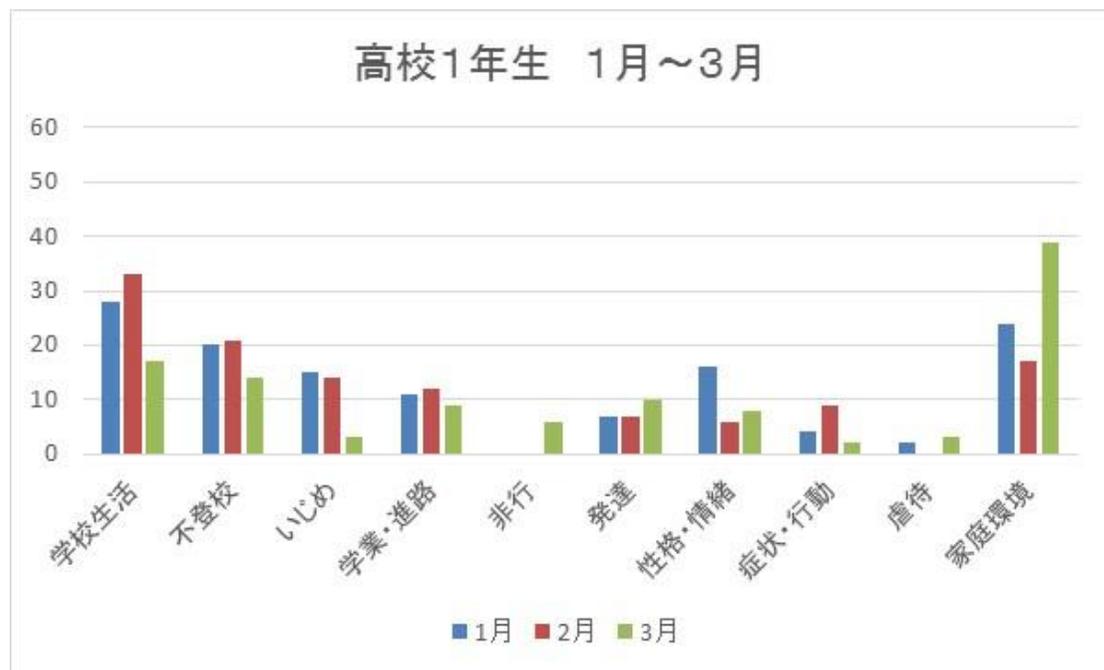
【指導のポイント】

・受検に向けて気持ちが落ち着かない時期となる。些細なことも気になり、学校生活、家庭生活ともに気分が安定しない生徒がいる。周りの友達と比較されたり、自分で比較してしまったりすることで、落ち込んだり、悩んだりする。大人が他の生徒と比較しないようにすることはもちろんだが、人を見ず、自分に集中するようアドバイスを送りたい。

(相談例)

- ・受検時期であるが、LINE（無料通話アプリケーション）のグループにしつこく誘ってくる友人に対して、どのように対応してよいか悩んでいる。
- ・受検時期だが、勉強をしない自分の子供の対応について、親としてどのように対応すればよいか。
- ・学校で、教員からやる気がないと指摘され、ショックだった。
- ・問題行動が多い子供の進路について、どうすべきか悩んでいる。
- ・周りの人と比べ、さまざまなことに悩み、疲れてしまう。自分が嫌になる。

高校1年生



(相談例)

- ・不安障害で外に出られなくて学校に通えない。
- ・親子間でコミュニケーションが取れない。子供が家を出てしまう。
- ・ストレスを弟にぶつけている。
- ・子供が意思表示をしなくて困っている。
- ・人づきあいが苦手な子が、学校でうまく生活ができているか心配だ。
- ・友達とうまくいかないのが悩んでいる。

統計結果・相談内容から分かること

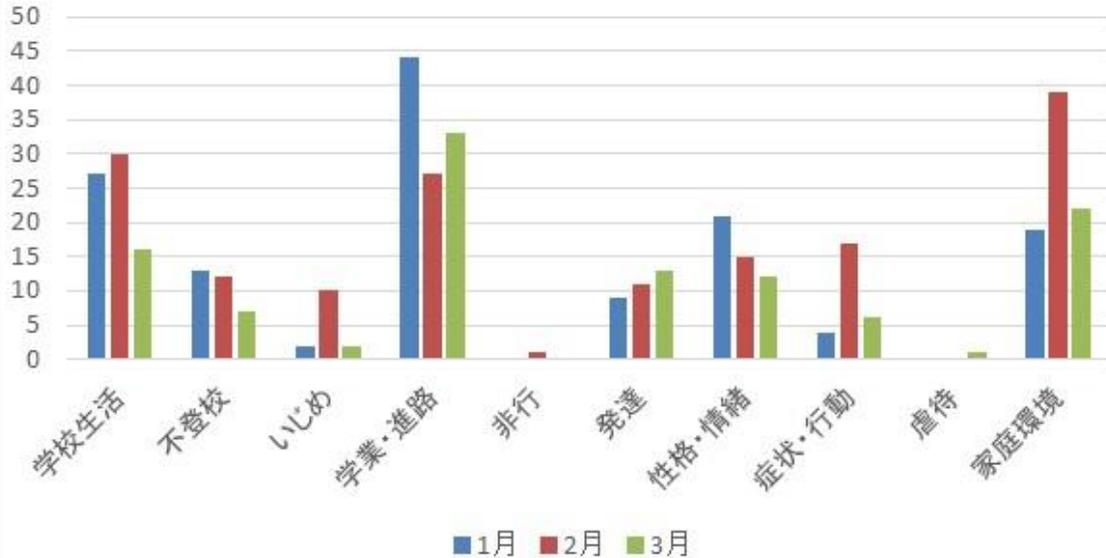
・家庭環境の悩みでは、反抗的な態度をとる子供に対する相談が多い。生活の乱れも見られることで、休みに入る3月に相談が多くなっている。学校生活の悩みでは、友達関係でうまくいかないという相談が多い。2学期までは友達関係の相談の際、不登校につながるような言葉があるが、この時期の悩みにはまだ不登校につながりそうな言葉はない。

【指導のポイント】

不登校まではいかない友達関係のトラブルが見られるが、長引くことで次年度当初の不登校につながることもある。未然防止の対策を行いたい。特に3月は生活の乱れから家族とのトラブルが多い。休み前の事前指導をしっかりと行いたい。

高校2年生

高校2年生 1月～3月



統計結果・相談内容から分かること

・学業・進路の相談が多いが、ほとんどが保護者からの相談で、本人からの悩みの相談は少ない。進路が見えてくる中で、勉強に取り組まない子供に対する不満が大きい。一方、家庭環境や性格・情緒の相談では、子供本人から、やる気がなくなったという相談が多い。ここまで頑張ってきたが、つまずいてしまい、無気力になってしまう生徒が多い。

【指導のポイント】

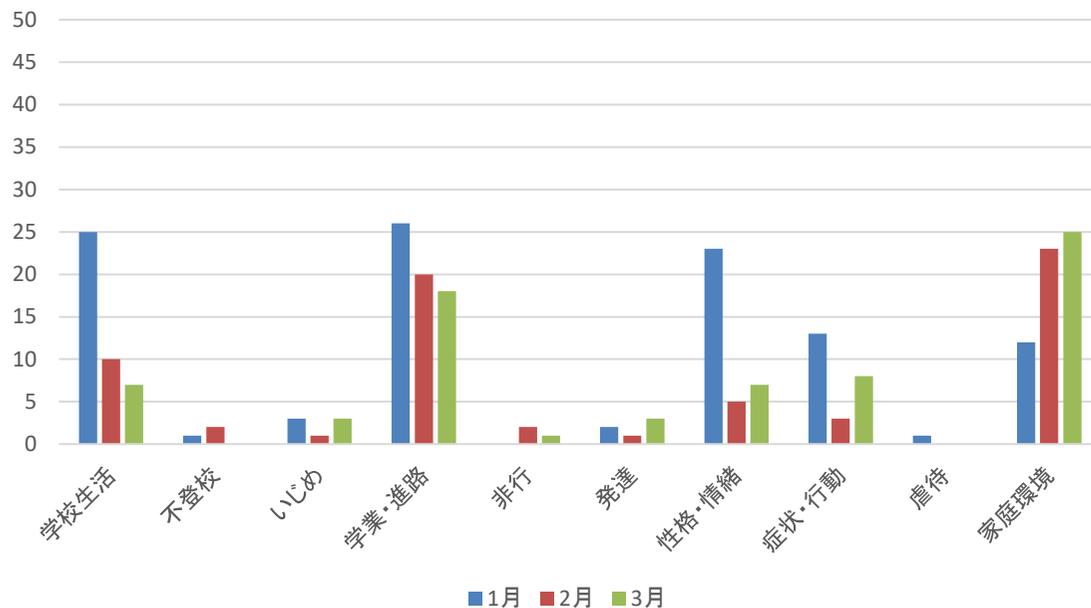
・頑張っている生徒が、突然無気力になり、将来に対して不安を感じることもある。親の望むように生きてきた生徒が、大人への分岐点を迎えるに当たり、自ら進路を決められるよう、生徒指導とともに進路指導にも力を入れ、自ら決定する力をつける指導を行いたい。

(相談例)

- ・学校が辛くなり休んだ。学校がつまらない。
- ・学校の課題をやる意味がわからない。今後どうしてよいかわからない。
- ・子供が勉強に行き詰まっている。塾で頑張ってきたが、無理をさせてしまったのだろうか。
- ・大学進学を控えているのに、勉強をする気持ちはない子供に対して愚痴が出る。
- ・自分の将来の夢に対して、親が反対している。
- ・子供が勉強をせずにスマートフォンばかりいじっている。
- ・子供の成績や進路が心配だ。

高校3年生

高校3年生 1月～3月



統計結果・相談内容から分かること

・学業の心配が多い1月は、気持ちが不安定になることから、「性格・情緒」の相談が多くなり、受験が終わると「家庭環境」の相談が多くなる。卒業を迎えるに当たり、気持ちに余裕が生まれるのか、プライベートなことで些細なトラブルを気にして相談する生徒が多い。

【指導のポイント】

・卒業を前にして、希望に満ちて明るくなる生徒がいる一方、原因がわからずに不安になったり、無気力になったりする生徒がいる。順調そうに見える中でつまずく生徒もいるので、普段の様子を注意深く見守りたい。また、卒業に向けて希望で落ち着かなくなり、ささいなことではあるがトラブルを起こしてしまう生徒がいるので、最後まで生徒指導をしっかりと行いたい。

(相談例)

- ・卒業を前にして学校を休みがちになってしまった。
- ・SNSにクラスの集合写真が載っているが心配だ。
- ・卒業後の進路は決まったが、自己肯定感が下がって何事にもやる気が出ない。
- ・卒業式が近づき、なんとなく不安になった。